

第17回亀山市景観審議会 結果概要

日時 令和7年3月14日（金）午後2時から午後3時45分まで

場所 亀山市役所 3階 大会議室

出席 [委員]

浅野聡 鈴木賢一 大井隆弘 中浦豊子 木崎嘉秋 中宝司 森敏子 中野郁子
森下晃吉 瀧本麻須美 服部亜樹 久保田智子 （欠席 森寺静治）

[事務局]

曾我都市整備課長 伊藤都市計画GL 加藤主任主査 野呂主査

傍聴 〇名

報告事項

①景観法に基づく届出の状況について（資料1）

事務局から、資料に基づき景観法に基づく届出の状況について説明を行った。

[主な意見]

- ・特になし。

②亀山市景観計画の改定について（資料2）

事務局から、資料に基づき亀山市景観計画の改定について説明を行い、景観計画の改定及び今後の景観形成の方針については、概ね了とされた。

[主な意見]

- ・景観まちづくりについての周知啓発に重点的に取り組む必要がある。その際、子ども達に亀山市の良さを感じてもらえるような取組についても検討していく必要がある。
- ・伝統的な建造物が取り壊されてしまう前に、空き家バンク等の空き家対策や、定住施策との連携も図りながら、当該建造物が活用されることによって保全が図られていくための施策を検討、推進する必要がある。
- ・普及啓発や伝統的な建造物の保全・活用に加え、有形・無形を含めた歴史文化を残していくためには、観光施策との連携も図っていく必要がある。特に、亀山市は、町屋に加え、武家地としての特徴を有しており、武家地としての魅力も掘り起こしていく必要がある。
- ・景観重要建造物の指定の推進に当たっては、指定の候補となる建造物について広く情報収集を行うとともに、補助制度の創設について検討を進める必要がある。